

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区 防災計画 【概要版】

長野市教育委員会

1 計画の目的

- ◆ 伝統的な建築物や石造物は魅力的な町並みをつくりだす一方で、火災や地震などの災害に弱い面もあります。
- ◆ また、地形や気候、建物の利用方法、既存施設の状況などから、戸隠に特有の防災上の課題も多くあります。
- ◆ 文化財の保存と活用を図りつつ、防災上の課題に対する対策事業を計画的に実施するため、防災計画を策定します。

◎ 戸隠に特有の防災上の課題

- 飛び火による類焼の危険性が高い（茅葺屋根の建物が多い）
- 近隣での火災の早期発見が難しい（敷地が広く隣家と離れている）
- 消防署による初期消火が難しい（近くに消防署がない）
- 伝統的建造物の一部は耐震性に不安がある（壁が少ない、偏っている）
- 積雪量が多く、寒冷地である（標高が高い）
- 不特定多数が利用する伝統的建造物が多い（宿泊施設、飲食店など）

2 計画の基本方針

① 個々の建造物等の防災性能の向上

- ・ 建物や石垣等の適切な日常管理と構造補強、必要な設備の適正配備、施設ごとの避難誘導計画の作成などを目指します。

② 地区全体に関する防災施設の拡充

- ・ 外部通報システムの構築、初期消火設備や消防水利の整備、共同排雪場所の確保、無電柱化の推進などを目指します。

③ 地域コミュニティの防災力の向上

- ・ 地域コミュニティを主体とした防災訓練や勉強会等の開催、災害に備えた体制づくり、職人や建築士等との連携強化などを目指します。



防災は住民(世帯)・地域・行政が連携して取り組むテーマです！

住民：一人ひとりが防災意識を高め、被災時に適切な行動がとれるよう訓練を行うとともに、日常管理や予防活動に努めましょう。

地域：世帯単位では対応が困難な防災対策について、地域ぐるみで積極的に取り組みましょう。

行政：住民の方や地域団体による防災のための取り組みを継続的に支援します。
また、地区全体に関する防災施設の整備を行います。



防災計画には行政の取り組みだけでなく、住民の方や地域団体に取り組んでいただきたい内容も記載しています

3 防災対策事業の内容

主な災害として火災・地震・雪害のほか、防災全般に関わることや複合災害も念頭に置き、各課題に対して必要と考えられる防災対策事業を示しています。

また、事業の性格（ソフト/ハード）、実施する時期（継続/短期/中・長期）、実施主体（世帯/地域/行政/その他）を整理しています。

※ 短期は5年目までに実施、中・長期は6年目以降の実施を目標とします。

(1) 防災全般に関わる課題と対策

- ・防災についての理解を深め、平時から啓発活動や防災訓練等を行います。
- ・早期復旧・復興への備えや、防災力の基盤となる人（マンパワー）の確保を図ります。

課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
防災に対する理解の促進	住民向け防災マニュアルの作成		●		■			○	◎	○
	防災に関する勉強会の開催		●	■				◎	○	○
災害に強いコミュニティづくり	まちづくり活動の活発化		●	■			○	◎		
効果的な防災訓練の実施	発災型の防災訓練の定例実施		●	■			○	◎	○	○
観光客への対応	観光客の一時避難場所・避難所の検討		●			■		○	◎	
	インバウンドも想定した避難誘導體制の検討		●			■		○	◎	
早期復旧・復興への取り組み	応急復旧資材の確保		●		■			◎	○	
	修理用建材のストックヤード確保	●				■		◎	○	
	ヘリテージマネージャーや職人等との連携強化		●		■			◎	○	○
	修理履歴や図面の記録保存		●	■			○		◎	
	古写真や史料の保管・記録		●	■			○	◎	○	○
マンパワーの確保	移住希望者への支援		●	■				◎	○	

(2) 火災に関わる課題と対策

- ・ 出火リスクの高い施設では、出火予防の徹底と利用者の避難誘導を適切に行います。
- ・ 既存の警報器等を適正に管理するとともに、外部通報の仕組みを整えます。
- ・ 扱いやすい初期消火設備を整備するとともに、飛び火延焼を防ぐ消火設備を配備します。
- ・ 消防水利の不足箇所に耐震性貯水槽を整備し、既存の防火水槽等も適宜改修を進めます。

課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
出火予防	出火リスクの把握と低減、日常点検の徹底		●	■			◎			
	老朽化した電気配線・設備の更新	●		■			◎			
	感震ブレーカーの設置	●			■		◎		○	
	不審火・失火の警戒		●	■			◎	○		
早期発見・早期通報	住宅用火災警報器の設置・管理の徹底		●	■			◎			
	自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化	●			■		◎		○	
	炎センサーの設置	●			■		◎		○	
	外部通報システムの整備	●			■		○	○	◎	
初期消火・延焼防止	街頭消火器等の配備		●		■			◎	○	
	住民が扱いやすい消火設備の配備	●			■			○	◎	
	延焼危険度が高い建物への消火設備の設置	●			■		○	○	◎	
	飛び火警戒の体制づくり		●			■		◎	○	
施設での避難・誘導	冬季も考慮した避難経路の確保		●		■		◎			
	不特定多数が利用する施設での避難誘導計画等の作成		●		■		◎		○	
消防活動	防火水槽の改修、更新	●		■				○	◎	
	消火栓の改修、更新	●				■		○	◎	
	消防水利不足箇所への防火水槽等の整備	●			■			○	◎	

(3) 地震に関わる課題と対策

- ・ 日常点検や初期補修を行い、冬季は適切な雪下ろしによって積雪荷重を軽減します。
- ・ ヘリテージマネージャー(建築士)等の協力のもと、建物の耐震診断を推進します。
- ・ 耐震性能が不足する場合は文化財の価値を損ねないように注意しつつ構造補強を行います。
- ・ 石燈籠などの石造物は地震時に倒壊の危険があることを来訪者等に注意喚起します。

課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
建物の耐震対策	劣化・破損の日常点検と初期補修の実施		●	■			◎			○
	適切な雪下ろしの実施		●	■			◎	○		
	耐震診断の推進		●	■			◎		○	○
	構造補強指針の作成		●		■				◎	○
	建物の構造補強の推進	●		■			◎		○	
工作物の耐震対策	石垣・石造物等の日常点検の実施		●	■			◎	○		
	石垣・石造物等の耐震対策の推進	●			■		◎		○	○
	地震時の危険性についての注意喚起		●		■		◎	○	○	

(4) 雪害に関わる課題と対策

- ・雪害が起こりやすい箇所の補強と改修、腐朽対策を行います。
- ・適切な雪下ろしを行うとともに、雪害を招かないよう排雪処理を行います。

課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
建物の補強・改修	雪害頻発箇所の補強	●		■			◎		○	
	雪溜まり箇所の腐朽対策	●		■			◎		○	
屋根積雪の抑制	適切な雪下ろしの実施（再掲）		●	■			◎	○		
	効率的な屋根融雪の調査研究		●		■			○	◎	○
排雪処理	適切な隣棟間隔の確保	●		■			◎			
	共同排雪場所の確保	●		■				◎	○	

(5) その他の災害に関わる課題と対策

- ・土砂災害については県と連携するとともに、警戒区域内の建物では避難計画を立案し、危険が予想される場合には事前避難を徹底します。
- ・樹木の倒木や落枝対策として、日常の点検や管理を行い、樹勢が悪化している場合には樹木医の診断をもとに樹勢回復を図ります。また、危険木等は伐採を検討します。

課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
土砂災害対策	県の砂防事業との連携	●				■		○	◎	
	避難計画の立案、事前避難等の徹底		●	■			◎	○	○	
	伝統的建築物の移転等の位置の検討		●	■			◎		○	
倒木・落枝対策	樹木の日常点検・管理の実施		●	■			◎	○		
	樹木医診断に基づく樹勢回復		●	■			◎		○	○
	危険木等の伐採	●		■			◎	○		
	無電柱化の推進	●		■				○	◎	

4 防災計画の実施体制など

- 防災計画の実施に際しては、必要に応じて各分野の専門家（防災アドバイザー）から助言を得ることができるようになります。
 - 住民・地域団体・有識者・行政等による「防災会議」を定期的開催し、防災計画の効果的な推進や内容の修正について協議します。
 - 防災計画に基づく対策事業の一部については、国の支援のもと、市予算にて令和4年度以降に順次、実施する予定です。
- ※ 令和4年度は防災マニュアルの作成と小口径消火ホースの配備に向けた設計業務を予定しています。

【防災計画に関するお問い合わせ】

長野市教育委員会事務局 文化財課（担当：塚原）
 電話 026-224-7013 FAX 026-224-5104
 E-mail bunka@city.nagano.lg.jp